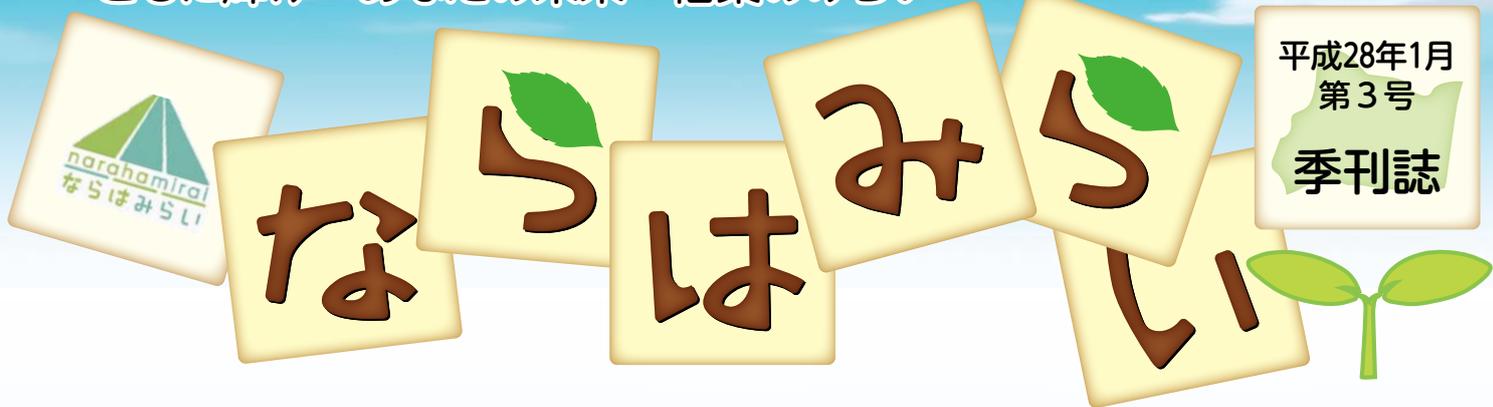


ともに輝け あなたの未来 檜葉のみらい



平成28年1月
第3号
季刊誌



ならは応援団

全国に広がる応援の輪

昨年度から募集を始めた「ならは応援団」は、のべ370名を超えました。町民に加えて町外や県外の方で檜葉町を応援する輪が全国へと広がりつつあります。9月5日の檜葉町復興祈年式典では、立命館大学の学生がならは応援団として、町民の方々にインタビューを行い、一人ひとりの想いや記憶を写真と共にまとめた「ならは、31人の『生』の物語」を作り、展示を行いました。これからもならはみらいは、檜葉町を応援してくれる全国の応援団員との架け橋の役割を果たしていきます。

新年のごあいさつ



代表理事
渡邊 清

復興加速へ全力

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、平成28年の新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当法人に対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

檜葉町も9月5日をもって避難指示が解除され、徐々に復興の兆しが見えてきて参りました。今後、当法人といたしましては、将来を見据えた各種事業を、スピード感を持って取り組んでいきたいと考えております。真の復興を実現する為には、町民の皆様のご理解・ご協力は欠かすことは出来ません。どうぞ、今後とも当法人にご理解・ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

本年も、皆様とともに、檜葉町の復興を目指して邁進してまいりますので、一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



専務理事
蛭田 勇成

ならば未来がより身近な存在に

平成28年の新年を迎え、町民の皆様にはご家族と和やかな時間を共にするなど、清々しいスタートを切られたものをご推察いたします。

さて、昨年9月の避難指示の解除を契機に檜葉町の復興・再生は新たな局面に入りました。そのような状況の下、町民の皆様には今後の中長期的な生活のあり方を考える時、これまで以上に切実な問題に直面することにもつながりかねず、28年は大切な年のスタートでもあると考えております。

「ならば未来」は、町民の皆様への復興・再生にかけられるお力を十分に活用させて頂くと共に、様々な「おもい」を大切にしていくための仕組みづくりや事業の展開を図って参ります。

皆様と共に28年を実り多い年にすべく頑張ってお参りしましょう。



事務局長
古市 寿正

事務局職員一丸となって取り組む

新年、あけましておめでとうございます。

避難指示が解除され、例年にも増して新たな気持ちで、新年を迎えられたことと存じます。ならば未来も、昨年は皆様のご支援・ご協力を頂きながら不安の解消・生きる力・絆づくりと種々事業を実施して参りましたが、少しは皆様のお役にたてたのかなと思います。

本年も、一人でも多くの町民の皆様へ目を向けて頂けるよう事業を実施して参りますので、更なるご支援をお願い申し上げます。

今年1年が皆様にとって実り多い年になります様、事務局職員一同ご祈念申し上げ挨拶といたします。

事務所移転の承認と中間決算報告

平成27年度第2回理事会及び臨時社員総会

平成27年度第2回理事会および臨時社員総会は11月5日Jヴィレッジ内アルパインローズで開かれ、事務所移転に伴う定款変更の承認事項や中間決算報告、その他事項が決議されました。



ならは応援団の主な活動

檜葉町で復興の灯り

◎ ころろつなくならは ◎

9月5日(土)避難指示解除にあわせて檜葉町総合グラウンドと津波によって被災した前原地区を会場にキャンドルナイト～あらたな一歩～が行われました。このキャンドルナイトは、ならは応援団スペシャルサポーターのキャンドル・ジュン氏監修のもと行われ、ならは応援団も多数参加して、キャンドル並べや点灯のお手伝いをしました。



ならは応援団(立命館大学学生)がキャンドル並べや点火など協力してくれました。



ならは応援団スペシャルサポーターキャンドル・ジュンさん

花とみどりのプロジェクト

第1・2・3弾

「檜葉を花いっぱい町にしよう!」という思いからならは応援団の取り組みの一環として始まった企画です。町民の方も多く参加し、町外、県外の方と一緒に花植えを行い、交流を深めました。



第2弾
あおぞらこども園前
町道沿い花壇



第3弾
檜葉町役場前
国道沿い花壇



花いっぱいの町を目指して今後も活動を続けていきます!!

なにかし隊とは「ふるさと檜葉のためになにかしたい！」という思いをもった檜葉町民のみで構成されており、ふるさと檜葉のために活動する団体です。

ふたばワールド2015 in ならはでブース出展

ならは応援団ブースの運営をならは応援団員と共に行いました。ブースではふたばワールド限定なにかし隊オリジナル手ぬぐいの販売やゆずジュースの振る舞い、台風18号の大雨によって被害を受けた茨城県堺町への募金活動などを行いました。



ふたばワールド限定なにかし隊オリジナル手ぬぐい販売



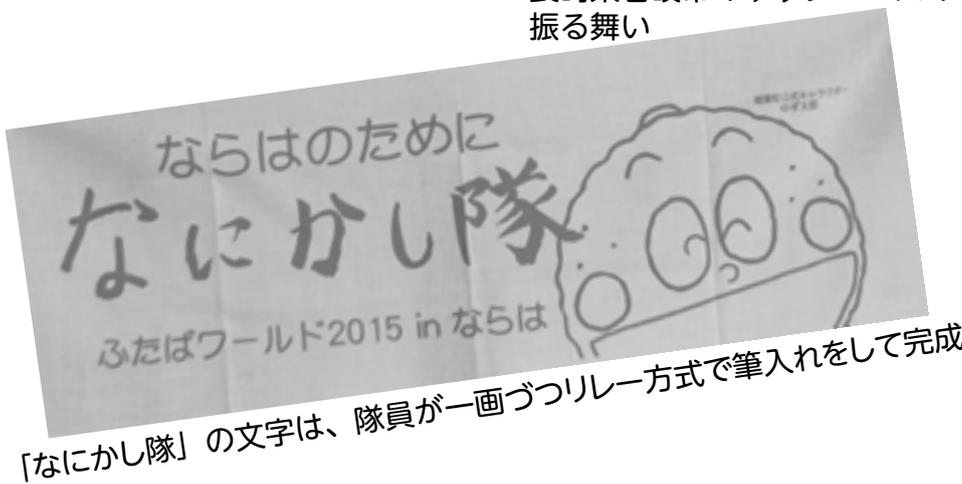
ゆずの里檜葉の復活への願いを込めて震災後交流を深めている長崎県壱岐市のゆずジュースの振る舞い



来場者の方々から多くの善意が寄せられました。

募金総額 195,358 円

茨城県堺町へなにかし隊で届けました。



防災無線を活用してラジオ体操と応援メッセージの町内放送

「なにかし隊」の発案で、町内防災無線放送を利用してラジオ体操の町内放送を始めました。また、ラジオ体操の前には、檜葉町を元気づけるメッセージを日替わりで放送をしています。

放送する曜日と時間

毎週 火・木・土 午前8時25分から



檜葉町への想いを放送

檜葉町まちなめぐりバスツアー

ならはで 夏の思い出つくろうよ!

震災後ふるさとを離れて暮らす子供達に檜葉で楽しい思い出を作ってほしいとの想いから檜葉町の子供たちをメインとした第1弾バスツアーを7月25日に行いました。夏の日差しの下、檜葉町に子供たちの笑顔があふれ、元気な笑い声が響き渡りました。



イワナのつかみ取り「動きが早くて難しいよ」



水鉄砲を使ったチーム対抗戦「よ〜くねらって!」



チーム対抗スイカ割競争。割ったスイカは食後のデザートに!



木戸ダムで集合写真

檜葉の秋を 堪能しよう!

檜葉の深まる秋に触れながら、町の復興に向けた取り組みを紹介する第2弾バスツアーを11月27日に行いました。小山浄水場で飲料水の安全への取り組みについて見学したあと、今年鮭漁が再開された木戸川漁協の視察やしおかぜ荘でお風呂を楽しむなど、檜葉の秋を満喫されました。



木戸川漁協の視察



浪江町出身
水原ゆきさんの歌謡
ショー



小山浄水場の見学

第3弾は2月下旬予定
第4弾は3月上旬予定
ぜひご参加ください!

各種事業の取り組みについて

檜葉町生活再建空き家・空き地バンク事業

檜葉町での早期生活再建へ向けて、空き家・空き地の有効活用を目的とした制度、檜葉町生活再建空き家・空き地バンク事業の申込を8月から開始しています。現在は、空き家・空き地を貸したい、売りたいという方に申請用紙を発送して申込を受け付けております。今後、ならはみらいのホームページに物件情報を随時公開する予定です。

〈お問い合わせ〉

電話 0240-23-6771

ならはみらいホームページ <http://narahamirai.sakura.ne.jp>





キャンドル・ジュンさん

(ならは応援団スペシャルサポーター)

東日本大震災直後から被災地への支援をつづけているキャンドル・ジュンさん。毎月11日の月命日にはLove for NIPPONの代表として福島でキャンドルを灯して下さっています。

<メッセージ>

檜葉町のみなさんとともにこの先も歩んでいきたいと思っています。よろしくおねがいします!(Candle JUNE)



吉田桂子さん
東京都
(ならは応援団)

檜葉町のHPで「花とみどりプロジェクト」を知り、ステキなボランティアだなと思い参加しました!天神岬から見たのどかな風景、楽しそうに花植えしている町のみなさん、私の心もニコニコになりました。東京から遠くてなかなか行けませんが、当たり前の生活が当たり前になるまで応援を続けていきたいです。



森 亮太さん
滋賀県
(ならは応援団)

「そよ風届け隊」という関西の学生団体で関わり始めた檜葉町。ずっと気にし続けていきたいという思いもあり、ならは応援団に入団しました。「ふたばワールド」では老若男女、地元の方から東京・関西の方まで様々な方と一緒に活動できてとても楽しかったです。檜葉と関西。距離は遠いが想いは近く、これからも応援し続けます!



なすびさん

(ならは応援団スペシャルサポーター)

福島県出身のなすびさんは、東日本大震災直後から故郷福島県の復興のために精力的に活動されています。

<メッセージ>

今年9月5日に避難指示が解除となって、檜葉町が新しい一歩を踏み出すにあたり、ならは応援団に参加させて頂く運びとなりました。福島県人としての誇りを胸に、私の笑顔で少しでも檜葉町に笑顔が増える様になればと、そして私の長い顔が皆さんとの架け橋になればと、微力ながらも、力の限りに応援を続けて参ります。



青木ひろみさん
檜葉町
(なにかし隊)

私は生まれ育ったこの町が大好きです。ならは応援団の花植えボランティアやなにかし隊の募集があり、何か協力したいと参加しました。花植えや、ふたばワールドのブース運営など楽しいサークルの様な感じでいつも活動に参加しています。私自身、一人でも多くの町民が帰って来る事を願いながら、これからも積極的に活動に参加していきたいと思います。



松本 英樹さん
檜葉町
(なにかし隊)

友人と檜葉町の為に、なにか手伝える事はないか考えていたところ、なにかし隊の募集を見つけました。檜葉町復興祈念式典やふたばワールドでのゆずジュースの提供、なにかし隊手ぬぐいの販売に参加しました。みんなで実行に向けて取り組む事がとても楽しいです。これからも、自分のペースで活動に参加して行きたいです!!

ならは応援団入団状況

(12月1日現在)

| | |
|---------|----------|
| 個人入団者数 | 企業・団体入団数 |
| 町内 74名 | 企業 2社 |
| 町外 302名 | 団体 5団体 |

ならは応援団への入団申込方法

ならはみらいホームページから申込用紙を印刷し必要事項をご記入の上、ならはみらいまで! メール、お電話でのお申込も可能です。

随時、申込受付中!



事務所移転のお知らせ

平成27年11月1日より当法人の事務所が檜葉町公民館1階へ移転となりました。

それに伴い、各種お問い合わせ電話番号が変更となりました。

■一般社団法人ならはみらい事務所

福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-5
檜葉町公民館内

TEL : 0240-23-6771

FAX : 0240-23-6772

各種事業

◎檜葉町ハウスクリーニング受付

TEL 070-5621-2898

(檜葉町いわき出張所谷川瀬分室内)

◎檜葉町住宅再建空き家・空き地バンク受付

TEL 0240-23-6771

(檜葉町公民館1階事務室)

◎檜葉町住宅再建相談窓口

TEL 0240-23-6321

(檜葉町公民館1階事務室)



一般社団法人 ならはみらい

住所: 福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 檜葉町公民館内

電話: 0240-23-6771 FAX: 0240-23-6772 <ホームページ> <http://narahamirai.sakura.ne.jp>